

(1) 土地改良施設の維持管理

事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業		
事業の目的	○ 農業の持続的な発展を後押しするため、農業生産活動の基盤となる農業水利施設の機能の安定的な発揮に必要な機動的かつ効率的な長寿命化対策及び防災減災対策を、早期に効果が発現する地区を対象にきめ細かく推進するとともに、効果を最大限に発揮するための取組を支援する。		
事業の内容	<p>○ 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・きめ細やかな長寿命化対策 農業水利施設の老朽化にきめ細やかに対応して長寿命化を図るほか、水管理や維持管理の省力化に資する取組、農業水利施設のスペア資材の確保を支援。 (ハード対策) 機能診断・機能保全計画に基づいた補修や更新、分水ゲート自動化、除塵機や水位計・流量計等の設置など (ソフト対策) 施設の状態を確認するための機能診断、機能保全計画の策定、ICT化など省力化技術を導入するための実証など</li> <li>・機動的な防災減災対策 農業水利施設の機能低下により、災害の恐れが生じている箇所において、その機能を回復するとともに、被害の発生を未然に防ぐための取組や、事故の防止などリスク管理に資する取組を支援。 (ハード対策) 災害による被害の未然防止に必要な施設整備、リスク管理のための観測機器の設置、緊急時に対応するためのポンプ等の設置、安全を確保するための整備、防災重点ため池の防災環境整備など (ソフト対策) 施設の耐震性調査など (浄化槽) 特定既存単独処理浄化槽を廃止し、農業集落排水へ接続する場合、当該単独処理浄化槽の転換に必要な経費を支援</li> <li>・ため池の保全・避難対策 緊急時の迅速な避難行動や適切な保全管理につながる対策に資する取組を支援。 (ソフト対策) 防災重点ため池に係るハザードマップの作成、監視・管理体制の強化、減災対策の実施など</li> <li>・施設情報整備・共有化対策 (ソフト対策) 人・農地プランが実質化されている地域又は実質化に取り組む地域の農地を受益農地とする農業水利施設等の地理情報システム化を支援</li> </ul> <p>○ 実施要件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(ハード対策) 長寿命化・防災減災整備計画に基づいて実施されるもので、</li> <li>・総事業費200万円以上</li> <li>・受益者数2者以上</li> <li>・事業期間3年以内（ため池の整備を行う場合は、5年以内）</li> <li>(ソフト対策) 事業期間1年以内（施設情報整備・共有化対策は除く）</li> </ul>		
事業実施主体	都道府県、市町村、土地改良区等		
実施期間	平成30年度～ (浄化槽は令和9年度まで)	補助率等	(ハード対策) 定額、1/2等 (ソフト対策) 定額、1/2等
令和5年度予算額	地区数 111地区	事業費(道費) 1,986,137(212,627)千円	
最近の実績等	令和4年度 令和3年度	105地区 109地区	2,307,371(199,558)千円 1,458,687(204,098)千円